

文化祭

皆さん、文化祭お疲れ様でした！附中新聞第十号では、文化祭で皆さんが活躍の姿を見せてくれた演劇での感想を掲載します。今回は委員の皆さんが、クラスの演劇での仕事を通しての感想も載せていますので、是非読んでみてください。

九月九日、中学校に入ってから初めての文化祭があり、演劇を行いました。僕は演劇のストーリーを紡ぐ役割となる役者になり、本番では観客の方たちへストーリーを伝えました。文化祭に向けての準備が始まった当初は、本番では「緊

張」という感情しかない、とばかり考えていましたが、実際に舞台上がって役者として演じてみると、「緊張」という感情はなく、「楽しい」という感情が生まれていました。

また、二・三年生の先輩たちの演劇は内容が深いものばかりで、僕たち一年生の素晴らしいお手本となりました。来年度は更に良い演劇を披露し、文化祭を盛り上げていきたいと思えます。

(二年)
僕たち一年B組は「三匹の子豚」WELCOME TO不思議な裁判」という演劇を上演しました。この話は皆さんも知っている「三匹の子豚」の話の世界の中で裁判を行いました。この演

劇を通して伝えたかったことは、人によって様々な考え方があるということでした。

演劇を通じて感じたことは、観客の皆さんへ声や動作、感情などをはっきりと伝えることです。たくさんの練習の成果もあり、演劇は大成功だったと思います。

(一年)
一年C組では、「Looking for freedom」自由を求めて」という演劇をしました。今回は初めての文化祭での演劇となりましたが、それぞれが自分の役割をしっかりと果たし、余裕を持って本番に望めたのではないかと思います。自身は役者として、ゆっくり大きな声でセリフを言うことや表情などに注意して、楽しく演じることができました。

文化祭での演劇を通じ

て大きな達成感と団結力を得たこのクラス。これからも飛躍していきます。

(二年)
各クラスが皆で協力し合い、短期間で完成度の高い演劇に仕上げることができたと思います。私たちのクラスは、演劇の準備を行う中で多少の衝突はあったものの、最終的には本番では観客の皆さんを楽しませ、盛り上げるという目標を達成することができたのではないかと、思います。どの係の人も積極的に準備に取り組み、クラスメイト全員で一つの演劇を作り上げることができました。私は衣装係だったので演劇に直接関わることはありませんでしたが、文化祭を通して団結力が深まり、より良いクラスになったと思います。

(二年)

文化祭では各クラスが素敵な演劇を披露することができたと思います。一年生は中学校初めての文化祭にも関わらず、完成度が高く、思わず笑ってしまようなコミカルな演劇。

二年生はタイムトラベルや王国の話など難しい設定の中でもリアルな演劇を。三年生は見ている人が話の世界に引き込まれるような演劇を披露し、文化祭を全員で楽しむことができたと思います。短い準備期間の中で各クラスが一つの演劇を作ることで仲間との絆も深まったのではないかと思います。

(二年)
二年C組「僕たちが変えました。」では“若者の力で世界を変える”をキャッチフレーズに、自分たちからはたらきかけることや

周りと協力することの大切さを伝えました。私は脚本係を務めました。オリジナルの脚本を作ったので、表現が難しくなった部分もあり、意見がまとまらないうちもありましたが、その時はクラスで真剣に話し合うことができたと思います。観客の皆さんに分かりやすいセリフにしたいために、話し合いは本番前日の放課後まで続けました。話し合いを通して一つひとつのセリフを改良することができました。準備は大変でしたが、ベストを尽くせたと思います。

(二年)

僕は「シン・デレラ」という演劇の照明係を担当しました。他の係に比べると仕事は少なかったです。が、充実したものでした。なぜなら僕は照明の中でフットライトの担当だった

たので、自分たちの演劇を間近で見ることができたからです。役者の演劇は迫力がありました。今回の演劇を通して、クラスが団結することができて良かったです。しかし、自分自身の反省点として、監督などの指示に従えなかったということがあったので、これからの生活では改善したいです。

(三年)

今年度の文化祭は、日程こそ大きく変更されましたが、中学生の演劇のクオリティーは健在で、例年同様に素晴らしいものでした。

また、今年度は下級生の演劇の完成度がとても高く、一年生に関しては、初めての演劇にもかかわらず工夫やセリフの言い回しがとても考えられていて、自分たちが一年生の頃

は絶対でできなかっただろうなと深く感じました。この調子で、後輩たちが附属中学校の文化祭での演劇という文化を、より一層発展させていってくださるのを心から願っています。

(三年)

今まで僕たち中学生だけで文化祭を創り上げるのはとても難しいことだと諦めかけていました。しかし昨年度までの先輩方のクオリティーの高い演劇を思い出し、自分たちが最高学年として後輩の手本となれるような演劇を創りたいと思えるようになりまし。クラス全体で創られた演劇はどれも細部に至るまで工夫が凝らされたものばかりでした。僕たちは「LA・LA・LAMP」という演劇をしま

したが、その中で使用したランプも二回も作り直したものでした。観客の皆さんに分かりやすい演劇にするために、話し合いも幾度も行いました。

未来に誇れる演劇を披露することができたのではないかと思います。

(三年)

執行部から！

今回は文化祭担当として、原案作成から当日の運営までの様々な活動を進めてくれた さんに文化祭の感想やコメントを伺いました。

こんにちは、中学執行部文化祭担当の です。今年度は一年生にとっては初めての文化祭、二、三年生にとっては新しいスケジュールでの文化祭

となり、誰にとっても初めての形の文化祭だったと思います。私たち文化祭担当、執行部も日時が変わり、予定などには苦戦することが少なからずあり、みなさんにはとても迷惑をかけてしまったと思います。本当に申し訳ありませんでした。事後アンケートを見ると、たくさんの方が楽しんでくれた反面、中高連携を感じられなかったり、自由時間のマナーが守れていなかったりまだまだ改善できる点はたくさんあったと思われ。これらの文化祭、そしてこれからの行事にその反省を生かし、一人ひとりが行事に積極的に参加し、クラス、学年、学校全体で一体となり、行事に向かっていきましよう。文化祭、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

(三年)